

事務事業評価シート

(H.28)No.	1210	(H.27)No.	1210
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地場産業振興事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	商工経済室	野口 泰弘	

会計区分	事業コード	361801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	地場産業振興事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 商工業振興費	地場産業振興事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施策	1	都市産業
	小施策	1	商業・サービス業の振興
重点施策コード		2-6.実践型地域雇用創造事業推進(なばりブランド創造プロジェクトの推進)	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> ・新事業の創出・育成により、地域産業の活性化を図る。 ・地産地消の推進、地域産品、地域資源の広報等により、販路拡大等ビジネスチャンスを生み出す。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した新商品の開発を支援し、新たな事業の育成を図る。 ・とれたて名張交流館による地産地消の推進 ・物産PR等により地域産品のブランド化、販路拡大を促進する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい商品アイデア募集事業 応募件数 161点 開発商品 5点 うち市販化 4点 ・とれたて名張交流館による地産地消の推進 ・豊島区交流都市観光PR ・塩竈市交流イベント ・乾杯条例サミット 等物産PRイベント出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者移住定住チャレンジ支援事業 ・とれたて名張交流館による地産地消の推進 ・物産PRイベント出展

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業 ・とれたて名張交流館による地産地消の推進 ・物産PRイベント出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業 ・とれたて名張交流館による地産地消の推進 ・物産PRイベント出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業 ・とれたて名張交流館による地産地消の推進 ・物産PRイベント出展

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	2,840千円	15,062千円	4,062千円	4,062千円	3,062千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他(基金繰入金)	0	8,062	1,000	1,000	0
	一般財源	(0) 2,840	7,000	3,062	3,062	3,062
人工数	職員	0.31人	0.69人	0.69人	0.69人	0.69人
	臨時職員等		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
②概算人件費	(0千円) 2,356千円	5,584千円	5,584千円	5,584千円	5,584千円	
①+②総事業費	(0千円) 5,196千円	20,646千円	9,646千円	9,646千円	8,646千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発アイデアの公募を行い、名張高校によるレシピ開発で、4点のアイデアが商品として市販化されるに至った。 ・農産品の6次産業化が主な取組として近年、継続しており、他分野での新たな展開も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業創出を図るため、創業支援に取組み、地域経済の活性化を図ることとする。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	・地産地消の推進、物産PRによる販路拡大、新商品開発により、地域経済の活性化に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	「とれたて名張交流館」への商品出荷やイベント等に参加している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
新たな産業創出を期して、創業支援及び創業支援体制の構築を図る。	名張市産業振興ビジョン